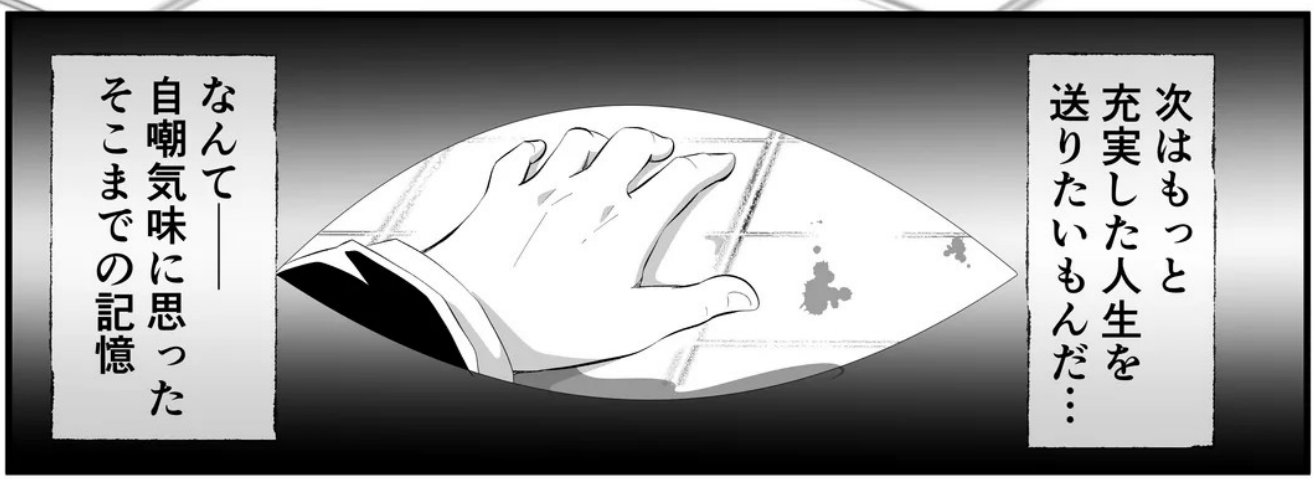
白雪美月
になってしまった
俺の受難性活

白雪美月
になってしまった
俺の受難性活

最後の記憶は
学校の階段から
落ちた痛さと
床の冷たさ

そして彼女も
いたことがない
己の童貞人生を
振り返りながら



そこから——…

あれ美月(みつき)～
帰らんのぉ？
帰りスタパ寄ってかない？
なぜか美少女転生してしまった俺です
あー…ごめんその…ワタシちょっと先生に呼ばれてるから～
えぇー美月またハヤ先にコキ使われてんのー？
かわいそー
ごっごめんね

理由は俺にもサッパリわからない

かわっ

白雪さんだー

はぁぁ～～～。

目が覚めたら別人でしかも美少女とか

アニメや漫画かよって話だが

現実として俺は今――

学生証

下記の者は本校の生徒であることを証明する。

学籍番号：30114687

氏　名：白雪　美月

生年月日：　年　月　日

県立大学付属高校 学長

山口県宇土市乎町3-12-6

『白雪（しらゆき）　美月（みつき）』という人間になってしまっている

社会準備室

ほんっと笑えない…

ガラッ

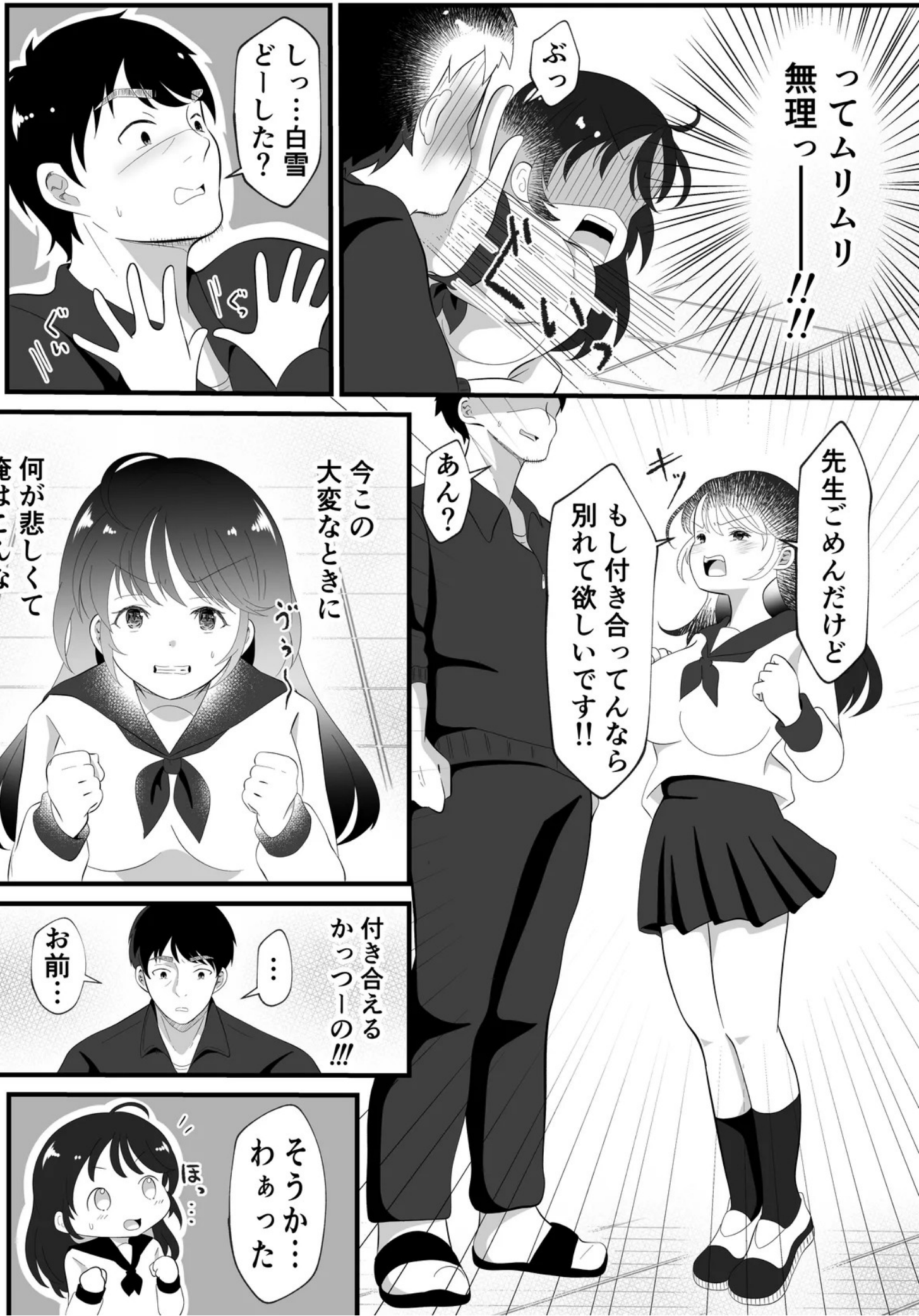
つうてもなぁまだ一週間も経ってねえし…なにをどうしたらいいのか。

失礼しまーす

資料整理の手伝いにきましたー

おうっ白雪
待ってたぞー
久しぶりの
金曜日恒例
お楽しみタイム♪
は？
はぁ…
なんだよ
今日はノリ
悪ぃなー
？？
雑務の
手伝い…
だよな？
てかこいつ…
担任のセンコー
だかなんだか
知らんが
やったら美月（オレ）に
絡んでくんだよなぁ
めんどくせえー…
まぁこの子
清楚系美少女って
感じだからなぁ
センコーうけも
抜群に良いんだ
ろうなぁー…
しかし学校の
男子といい
男に好かれても
全然嬉しくねえ…
女子とスタパ行きたかった
白雪～？
あ？
どした？
なんか
疲れた顔
してんな
あーいえ
大丈ぶ…
ぐぅ
よしよし今
いつものして
やるからなぁ
は？

えぇぇっっ!?!?
ちゅう
は!?なになに!?
ぬっ
ー〜
なにがどうなって…!?
ぐっ
ー〜んっ
美月またハヤ先にコキ使われてー
金曜日恒例のお楽しみタイム
なんだ今日はノリ悪いなー
いつものあれしてやるから
え?まさか…
まさか…もしかしてこの二人って——
付き合ってる!?
ふはっ
なんだお前またキスだけで感じちゃったか
とろぉ…
はぁ


ってムリムリ
無理っ――!!!!
ぶっ
ぐしっ
しっ…白雪
どーした?
ぐっ
ぐっ
先生ごめんだけど
もし付き合ってんなら
別れて欲しいです!!
キッ
あん?
今この
大変なときに
ぐぅ～
何が悲しくて
俺はこんな
オッサンと――
付き合える
かっつーの!!!
…
お前…
そうか…
わぁった
ほっ…

!?
ひいっ
あれか？
最近忙しくて
全然構って
やれなかったから
スネてんだろ？
今日はお前が
満足するまで
ヤってやるから
な？だから機嫌
直せって
は？
おまんこ!?
まったく…
お前はスネると
すぐ別れるとか
言うんだから
ま…マジか…
この白雪美月
という女
ゾクッ
っ…
かまってちゃん
だったかぁぁぁ
ひいっ
鍵はかけたけど
なるべく声は
抑えろよ？
づぇぇ…
別れ話を
まったく本気に
してくれねえ

お前敏感で
すぐ声デカく
なるからなぁ
ほんと
厭らしい
女め
はぁっ
はぁ
えっ
あのっ
清楚系美少女と
思ってたのに
ぐりっ
んっ
あっ
けどどおりで
この身体での
オナニーが
気持ちい訳だ
人の身体で勝手に
ごめんなさい…
ほらっ俺の
デカちんぽ
早く挿れて
欲しいんだろ？
ひっ
つぅーても男は
無理――!!!!
いやほんと
ムリですっ!!
NO
NO
またまたぁ
くりっ
んんっ
んちゅう
んむっうっ
ちゅう
ちゅく
ぢゅう

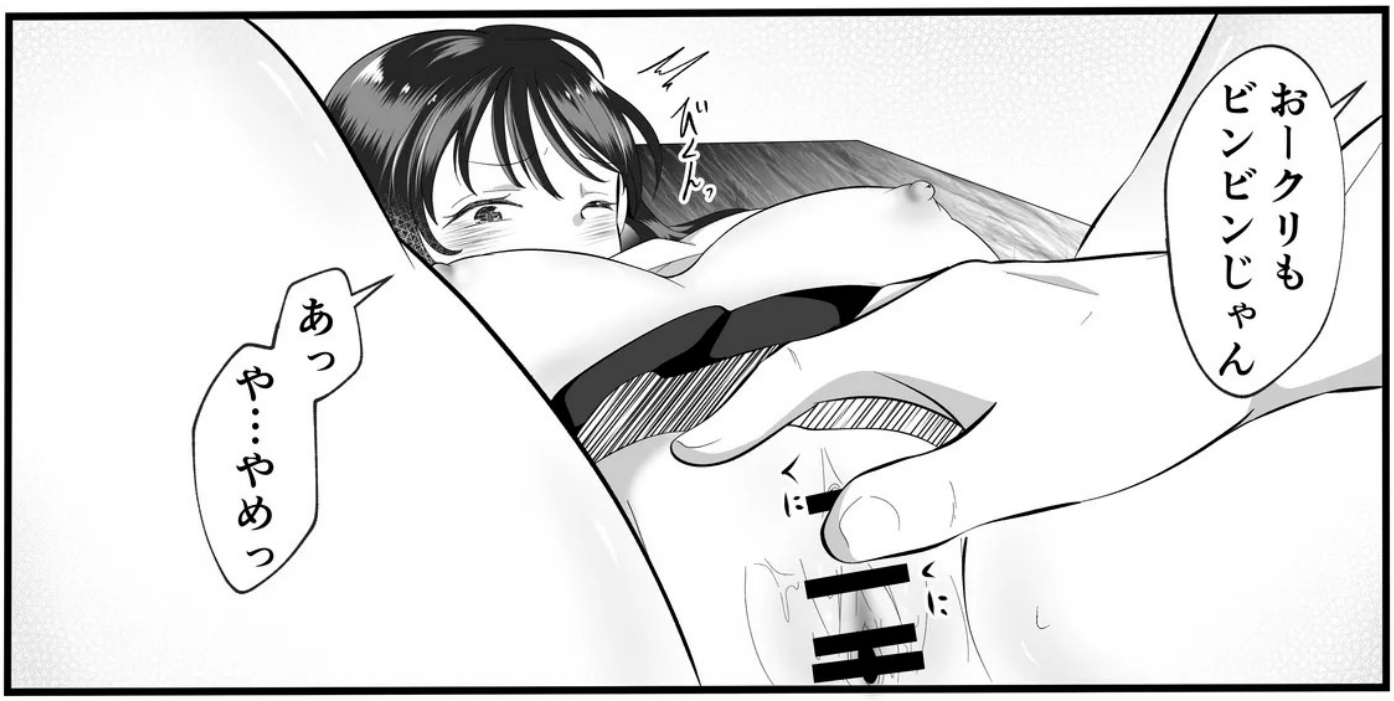
うわっ…
なんだこれ
ちゅく
ちゅる
ふぁ
なんでだ…
れろ
れぇろ
んっぁ
男となんて
気持ち悪い
はずなのに…
ちゅる
おー
ちょっとは
機嫌直った
かー？
ほんと
エロ可愛いなぁ
身体が勝手に
反応しちまう——

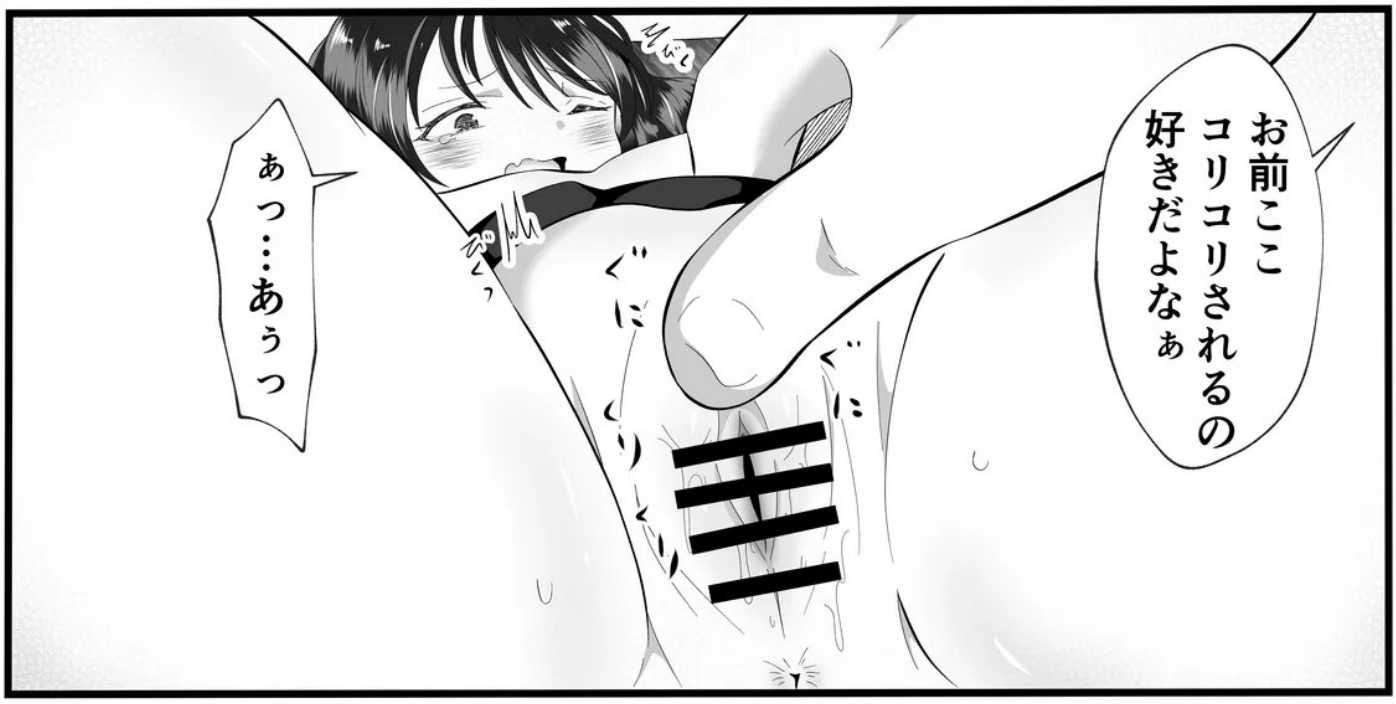
もうこんな乳首コリコリして期待してんのか
やっちが…
はいはいわぁったよ
くり
くり
くに
今しゃぶってやるからさ
ひぁっ
ちゅっ
ちゅう
ちゅるっ
あぁっ
やぁっ
あっ
あんっ
くそっ嫌だ——
オッサンなんかに感じさせられんなんて——
ちゅっ
ちゅく
ちゅる
くに
くに
おれ…男なのにっ…
あっ
あう

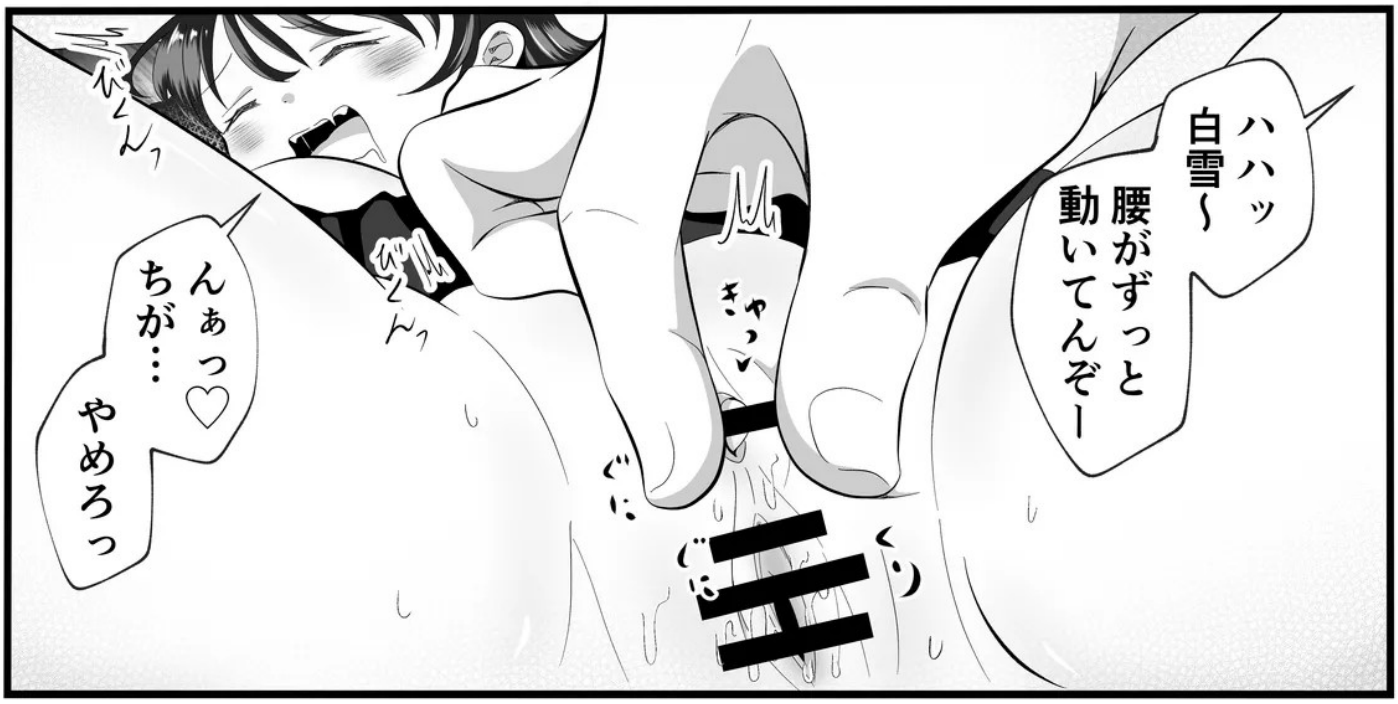
っ
ぴくっ
胸だけでこんな気持ちいいとか
ちゅく
くりくり
んっ
この身体ヤバすぎだろ
ぐにぐに
ぴくっ
ちゅるるっ
あっ
あぁぁっ
ぐりぐり
ぴくぴく
れろれろ
それだめぇ

おいおい白雪〜
はぁ
はっ
お前こんなにマンコぐしょぐしょにしてお漏らししてるみたいだぞ
ピー
くちゅ…
待ちきれないってかー？

ほらパンツ脱がすぞー
はぁ
はっ
くっ…屈辱っ…
はぁ
はぁ
けど腹の奥が疼いてしょうがねえ…
ごそ
ごそ


おークリもビンビンじゃん
ぐんっ
あっや…やめっ
くに
くに


お前ここコリコリされるの好きだよなぁ
ぐんっ
あっ…あぅっ
ぐに
ぐに


ハハッ白雪～腰がずっと動いてんぞー
ぐんっ
ぐんっ
キャン
んぁっ♡ちが…やめろっ
ぐに
ぐに

ん？
珍しいな
お前がそんな
言葉づかい
ぐちゃっ
あ
いや？嘘つけ
ここだろー？
くにくに
スゥー
あっ
ヌプ
ぴくっ
あっ
あっ♡
そこ
やぁっ
ズプッ
ズプッ
おっ
いくかぁ？
ぴくっ
あっ
ぴくっ
くちゃ
ぐちゃ
くちゃ
ぐちゃ

嫌だいやだっ
男なんかで…
はぁ…♡
ぶるっ
イきたくない
びくっ
びくんっ
びくっ
きゅうう

もう手だけでイっちゃったか？
相変わらずだなぁ白雪は
しかし今日はいつもより敏感か？

こんなにマン汁垂らしまくって…どれどれ
あっ
ちょっ
もうやめっ…

ぢゅるっ
ちゅるるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ちゅくっ
ちゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢ

おー
溢れる
あひゅへる
そ…そんな舌で
ちゃるっ
ちゃく
ちゃ
あぐっ
敏感なとこばっか
あっ
れぇ
あんっ
攻めまくられたら——
れろ
れろ
ひあぁ
ダメだ…俺つ
あっ
ぞく
またこいつの手で…
あぁ
ぞく
イっちゃう——…
ぞく
ぞく
ぞく

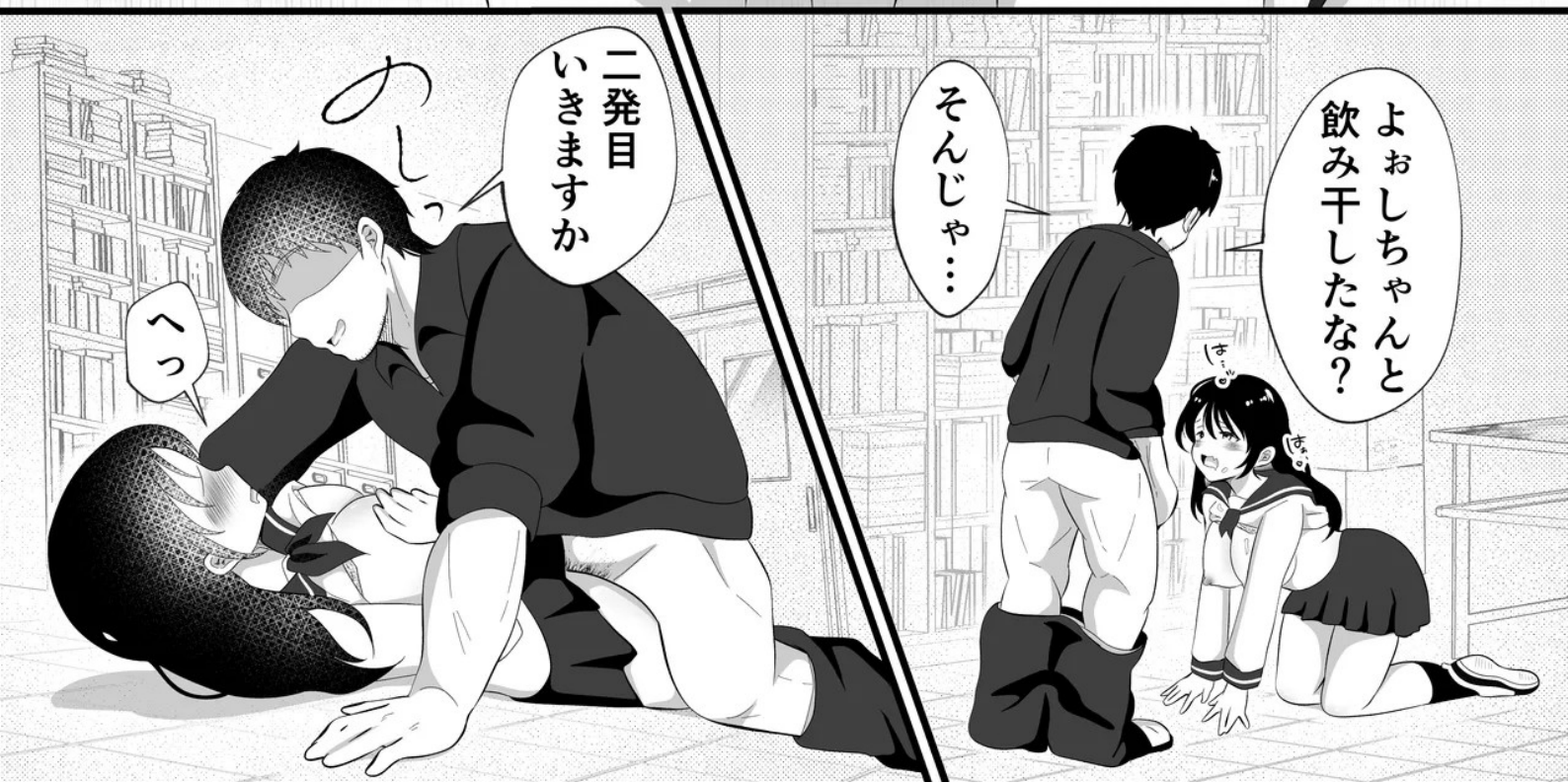
そこっ
ぴっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴゅーしゃあぁっ
ニヤ
おぉ〜
潮吹きまで
するとは
そーとう
溜まってた
のかぁ？

ちっちが…
うんうん
一週間以上ぶりだもんなぁ
ほら白雪おいで
えっ
おら好きなだけしゃぶりついていいぞ
お前の大好きなでかちんぽだろ？
はっ…
ありえないありえないっ――…
男のチンコなんて絶対しゃぶりたくないっ…
それなのになんで…

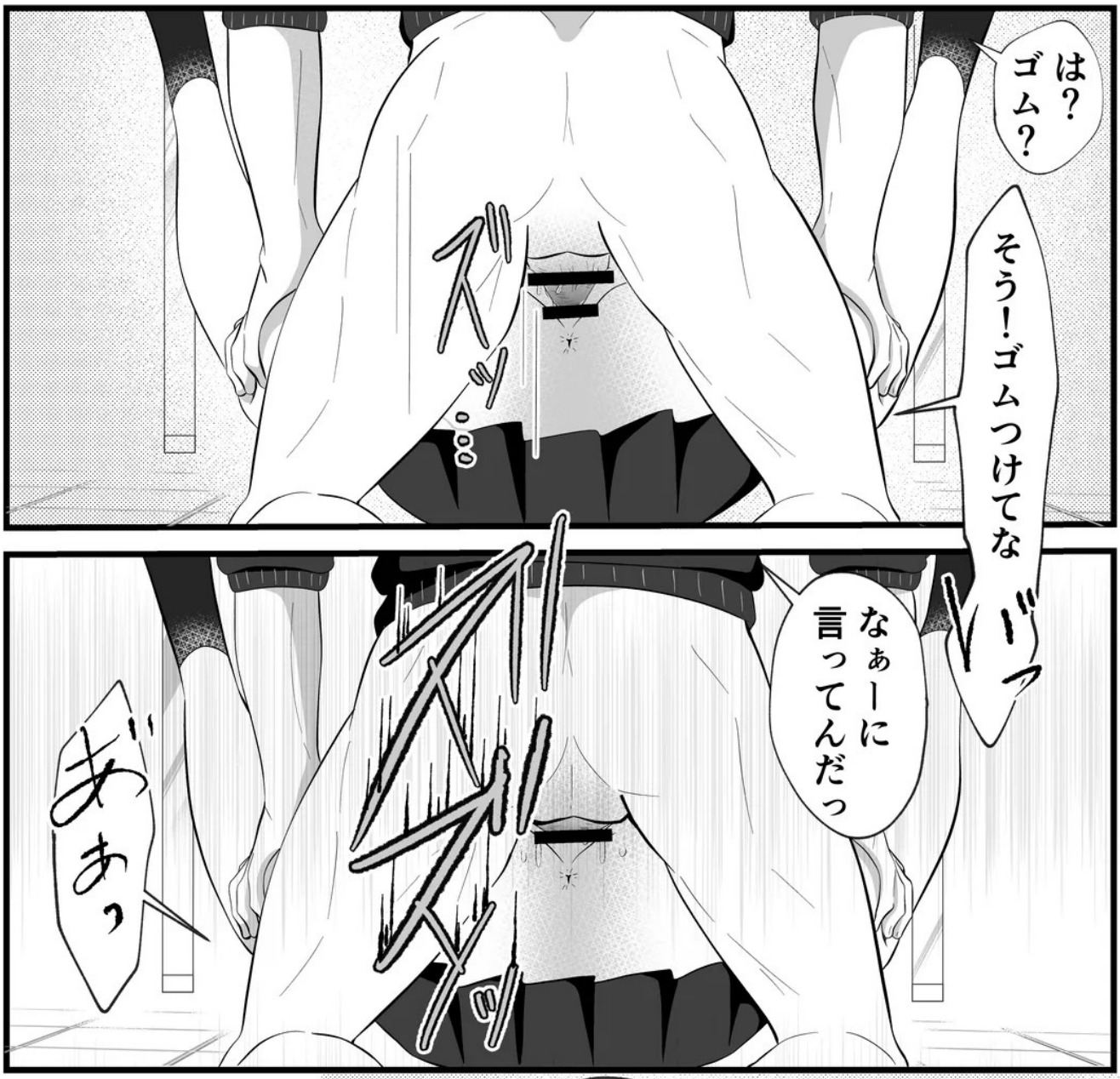
なんでこんなにも
この身体は
喜んじゃってんだよ
この身体
淫乱すぎだろ…
どーした？
ほら早くっ
んんっ
んー
はぁぁ…やば
久しぶりのフェラ
きもちー
白雪そこっ
…そうそう
舌で裏側も
刺激してくれ

やだ
あーやば
俺も一発
出しとこおかな
やだ
やだ
やだ
ハッ…白雪
もっと深く
咥えて
ぐぽ
んんっ
くぽ
あーいい
くそっ
くそっ…
いきそ
んぐ
ぐぽ
イく
くぽ
くぽ
嫌なはずなのに――…
射精す
射精すぞっ
んむっ

もっとしゃぶりたいっ……
びゅるるるっ
ごくん……


よぉしちゃんと飲み干したな？
そんじゃ…
はぁい
はぁい
二発目いきますか
へっ
ぬしっ

ギ…
射精した直後で…
絶倫かよ…
はぁ
はぁ
うっし
挿れっぞー
え
い…
え?ちょっ
先生…!?
ゴム
ゴムっ
あ?
ぬち…


は？
ゴム？
そう！ゴムつけてな
ズッ…
なぁーに
言ってんだっ
ヴァ
あぁっ

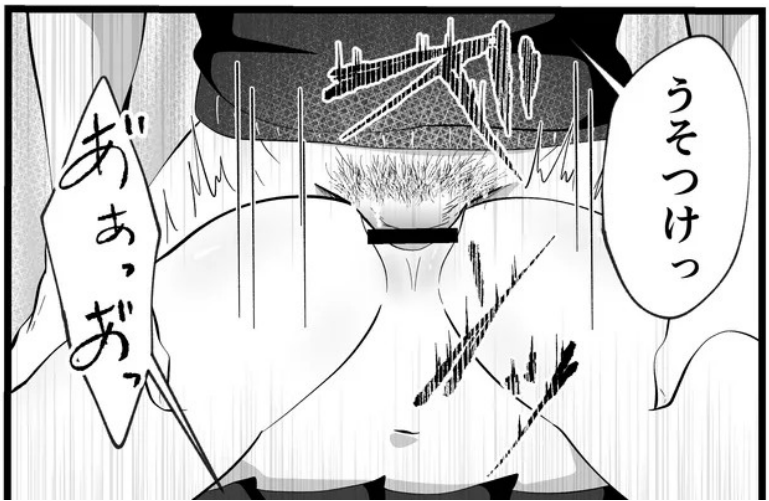
いつもゴムは
いらない
普段から薬飲んで
コントロール
してるからって
お前が生ちんぽを
所望してんだろうが
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
薬…？そんなの
この身体になってから
二度も飲んだことねえぞ
ぷちゅっ
ぷちゅ
はぁっ

おらっ白雪
気持ちいだろ
お前のっ
大好きな俺の
デカちんぽだぞ
ズプッ
ズプ
ズプ
ズプ
あづっ
ぐんっ

きっきもち
よくないっ
ーーそ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥

ほれっ
いつも
みたいに
ねだれ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
んっ
あっあっ

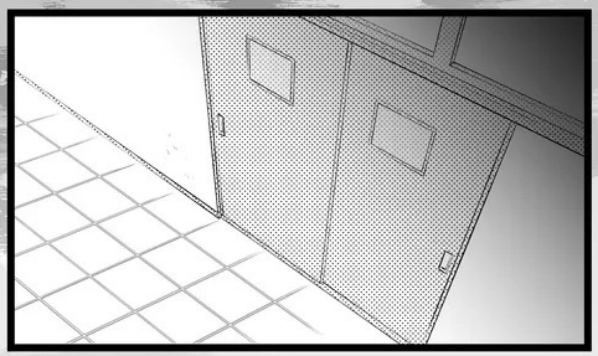
お前まぁだ
スネてんのか
ぎぶっ♥


うそつけっ
あっあっおっ

あっ
ぱちゅっ
こんなグチョグチョにして絡みついてるクセに
ぱちゅ♥
あぁっ♡
ぱちゅっ
気持ちいーしかねえだろっ
ぱちゅんっ
おっ♥
ぱんっ
でる
あーまたイキそっ
どうしよう…どうしようっ…
中出すぞ
ばちゅんっ
ばちゅ
あっ
どんどん自分が自分でなくなる
気持ちいぃ
いく
きもちぃ…
あっ
ぱんっ♥

がく
あぁぁぁ〜〜
びくっ
びゅるるるっ
びゅ〜〜
びく
はぁすご
びゅる
まだでる
びゅっ
あ
あぅ
がく

何も考えられない…



そんな締め付けてまたイクのかぁ？
んあ
あっ
あぁ
ズプ
ぬちっ
なんか今日お前いつにも増してイキやすいなぁ！
よしほらっイけっイケっ
ぱんっ
おっ
ぶるん
おごっ
締まったー

はい今度は尻突き出してー
はぁー
白雪のマンコはいつもキツキツでサイコーだなぁ
あぁっ
ばちゅんっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
きもちい
ぎもちぃ・・・
ずっちゅ
ずっちゅっ

もっと深く
もっと…もっと…
もっと欲しいっ!!!!
ぷしゃっ

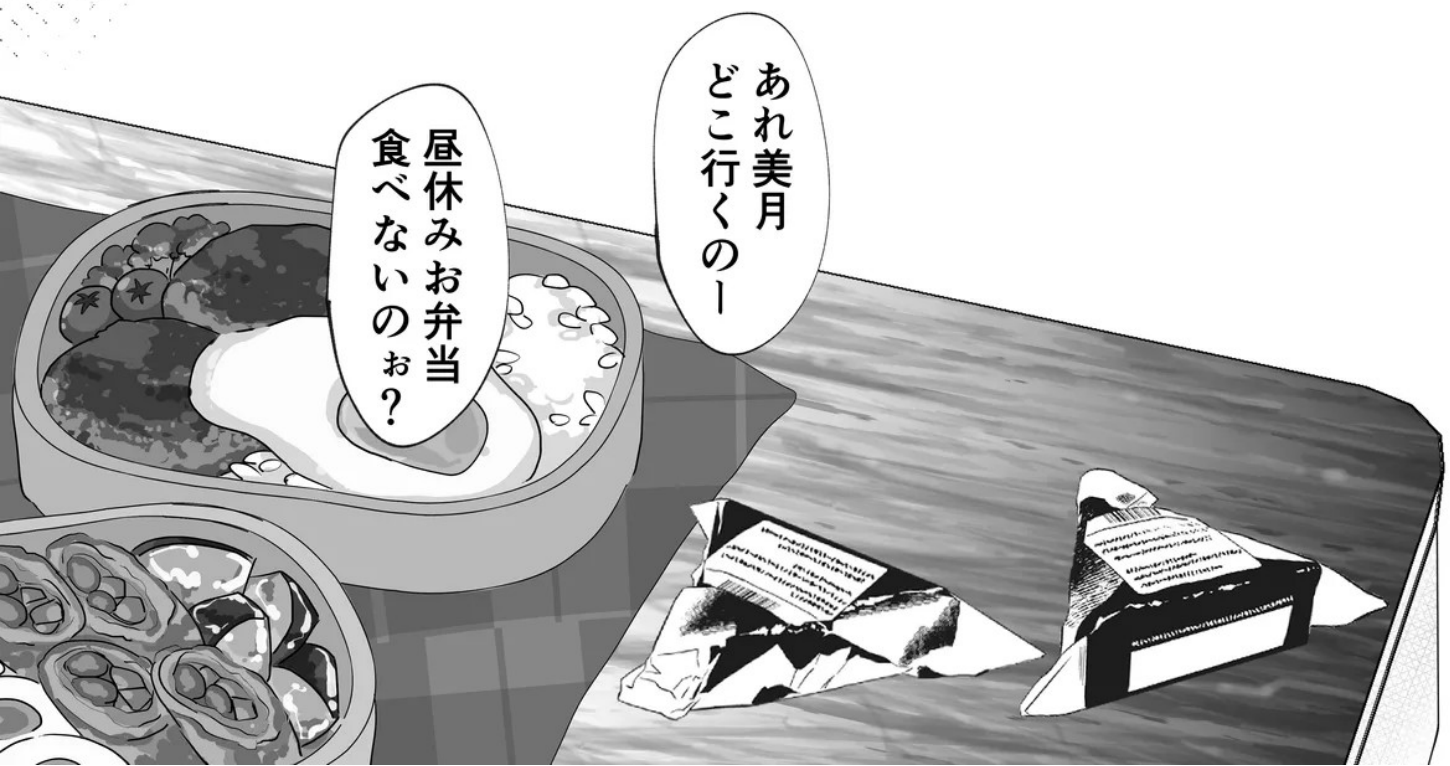
すげえなぁ
ずっと
イキっぱなし
ぶるっ
ぴくっ
びくんっ
びくっ
あ
がク
あぁ
がク
きゅん♡
きゅん♡
がク
さて
俺も最後にもう一発
出しとくかー
はぁ♡
はぁ♡
先生
先生
はぁ♡
はぁ♡
はぁ～～♡
なか…
せーし
くらはい
はぁ♡
はぁ♡
おーおー
いつもの
白雪だな
いっ
はぁ♡
はぁ♡

おらっ
お前の大好きな
生ちんぽだっ
あぁっ♡うれしっ
先生っ
せんせっ
おら孕めっ
孕め白雪っ
あうっおおっおっ
ズッ
ズチュッ
ズチュッ
ズッ
おらイけ
いけっ
おおっ
ズッ
ズッ
ズッ
おっ

びゅっ
びゅるるっ
びゅっ
びゅるるっ
あーやばっ
びゅるるっ
びゅーーっ
俺も今日
すげえ出るな

いい顔してんなぁ白雪〜
はぁ〜〜
おっ
はぁ
あっ
はぁ
暫くは忙しくないからよぉ

はっ
またここでゆっくりシような？
はっ


あれ美月どこ行くのー
昼休みお弁当食べないのぉ？

うん…ちょっと
先生に呼ばれてるから――…
社会準備室